

サンディエゴ日本人教会トピックス【2019年3月】

春うららかな日々をむかえ、青空のもとには地面いっばいに緑が敷きつめられ、色鮮やかな花々が咲きほこっています。今年の二月から三月にかけて、サンディエゴには、どんよりとした長い雨季の日々が続きましたので、このまばゆいばかりの日差しを受け、穏やかな日々はひとしお肌身にぬくもりを感じます。

「令和」と定められた4月から始まる新年号、私達も新たな心を持って主に仕え、希望と明るい未来に向かって励みましょう！

その後、皆さんいかがお過ごしでしょうか。神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

今月のトピックスは次のものを掲載いたします。

1. 婦人会でのお証：ワトソン麻希子姉、プロクター奈美子姉
2. 井上智子姉の賛美
3. 礼拝メッセージのライブ映像

1. 婦人会でのお証

3月17日(日) サンディエゴ教会で礼拝の後に持たれた婦人会での、二人の方々のお証を掲載いたします。

ワトソン麻希子姉

昨年7月に初めて修養会に参加させていただきました。いつも忙しい毎日の中あの3日間は、神様についてのお話や、他の皆様とのお交わりにどっぷりと浸る

ことができたこと、更に私の信仰が強められ、心が備えられた喜びの経験ができた日々でした。

その一ヶ月後に、前から伝えられてた肺の腫瘍のバイオプシーをし、結果は良くないものと伝えられて、私の世界は一変してしまいました。その後今まで後回しにしていた子宮の摘出手術も細胞検査のために急いで9月に決まり、その手術から回復した直後に肺の腫瘍を2箇所、摘出する手術をしました。

その間いろいろなことが頭を巡り、不安になったり、息子のこと、主人とのこと、私がこれから闘病生活になってしまうこと、もしも死んでしまったらこれからどうやってそのために準備をしないといけないのかなど、いろいろ考えました。

主人に話しながら何度も泣きました。主人は絶えず笑顔で私を励まし、しっかり地に足をつけて支えてくれました。私たちは息子の事を想い、バイオプシーの結果は伝えずに、一つ一つ、段階を追って手術のこと、今日の前で起きている事だけを伝えていく事にしました。その為周りの方々にはお知らせを控えておりました。

その間、神様が私に送って下さった御言葉がこの箇所です。

「あなたの道を主に委ねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」詩篇 37:5

子宮摘出手術のあと、大倉先生、美香さん、教会の皆様からお祈りと励ましのメッセージが届き順調に回復しました。

肺の方は手術のスケジュールがなかなか病院側から伝えられずに母の渡米とのタイミングが心配されましたが見事に母が来て3日目に手術という完璧なタイミングとなり、神様が全てを最善に準備して下さいました。ハレルヤ!

肺の腫瘍はテストを2回行われたあとに、癌ではないと報告されました。これはまさに驚くべき奇跡でした。

私はこのことを通して神様の絶大なる存在を体験しました。それは心が壊れ、暗闇の中にいるにもかかわらず、心はなんとも言い表せない神の平安が与えられていた事です。これは是非皆さんにお伝えしたかったのです。

中馬さんのお証で「神の声は小さく、私たちが静まっていないと聞こえない」と証しされていました。本当にその通りだと思います。日常毎日の私たちは、止まらず、静まらず、神様の小さな声に耳を傾けることなく毎日があっという間に終わっていく日々を過ごしています。それでも神様は絶えずそんな私たちを愛していただきます。ハレルヤ！

プロクター奈美子姉

先月、今度の婦人会のお証で娘のお話しなどをしてくれませんかと声をかけて頂いたのですが、私はあまりこういうのが得意な方ではなく、最初考えてしまいました。でも、この数か月、集会で皆様のお証をきいて、お証の大切さというのを今まで以上に実感したので、今回させて頂くことにしました。

娘が去年の12月に洗礼を受けることができ、クリスチャンライフをスタートしました。神様のお恵みを感謝します。皆さんもご存知の通り、私のお腹の中にいるころから娘はこの教会に通い、最初は、カーシートのキャリアーに入れられたまま、私と礼拝に行き、そしてナーサリーに行きはじめ、サンデースクール、今は、ユースに入っています。今まで、このように多くの皆さんがナーサリー、チルドレンチャーチを通し、子供たちを育てて下さり、また普段の教会の中でも、みなさんの愛をたくさん頂いて、神様に愛され、導いて頂き育てこられたことに本当に感謝です。

また、礼拝だけでなく、毎月ある恵会にも、この10年間、ずっと子供達をつれて参加することがゆるされました。とし子さんがリードしてくださり、聖書の学びができ本当に恵まれる時です。

まだ娘が赤ちゃんのころ、この恵会だけが私が唯一ゆっくりお食事を楽しめる時でした。毎食、食事の時間になると泣き始める娘を片手に、家ではいそいで食事を食べていたのですが、恵会の時は、いつも皆さんが代わる代わる抱っこしてあやしてくださり、「ゆっくり食べなさい」と言ってくださいました。子供達が大きくなるにつれ、皆さんは子供たちに声をかけ、話し相手になってくださり、実

際に子供達はバイブルスタディーやお祈りには参加しなくても、この恵み会の集会で、目に見えない何かを得て、学んでこられたのだと思います。

2018年12月に娘は洗礼を受けることができたのですが、実は、その前の年2017年の夏に洗礼を受けたいな、と私に言ってきたのです。それは2017年の夏、一時帰国をしていた時でした。日本の教会で受けたいと言ったのです。

私はその時、膝を悪くして日本で手術を受けることになりました。そして、予定を変更し秋まで日本に滞在することになっていました。私の手術のことはこの話のあと、お話しさせていただきます。

娘の気持ちを聞いて、とてもうれしかったのですが、私はその時、「サンディエゴに戻るまで待ったら」と言ってしまったのです。自分でもあまり深く考えて言ったことではなかったのですが、そう言ってしまいました。

秋にSDに戻ってきた時、大倉先生に話してみる？と聞いたら、「やっぱりいいや」と言ったのです。私は、なんであの時、「サンディエゴに戻るまで待ったら？」と言ってしまったのかとすごく後悔しました。その後、まったく娘の口からその話は出てこず、あの時の気持ちをちゃんと受け入れなかったことに自分自身とても情けなく思いました。

一年後、ある時、私に言ってきたのです。「わからないんだけど、洗礼をうけたいような、うけたくないような。」と。私はその時、何も考えず、「じゃあ、先生に相談したら？」とっていました。本当なら母親としてもっと娘の気持ちを聞いて話すべきだったのかもしれませんが、全て神様はご存知で、ご計画があり、あとは先生にお任せすれば大丈夫と私は信じていました。

その後、娘はすぐに先生のところに行き話し、そして、先生が全て準備してくださり、洗礼式を迎えることができました。洗礼式の後のお証で何を話したらいいのかわからないと言ったので、自分に与えられた御言葉や、神様との関係など何でもいいんじゃない？と言ったら、聖書を開いて、この御言葉とこの御言葉と、と言って、もくもくと自分で紙に書き始めました。

その時、私は初めて、今まで娘がたくさんのお言葉を自分の中に蓄えることができたのだと気づき、驚きまたうれしく思いました。これから娘も難しい年ごろになってきます。先輩のお母さん方からいろいろお話を伺っていて、多くの問題が出てくるようです。でも、岩の上に建てた家と、砂の上に建てた家という話がありますが、揺るがない岩の上で、子供達が義の道を歩んでいるという自信と平安を持つことができるように祈っていきたいです。そして、これから、もし少しでも神様から離れてしまう時が来たとしても、心に蓄えた御言葉や、賛美歌などをふと思い出し、主のもとに戻り、立ち上がっていくことができますように祈ります。

先程、少しお話ししましたが、おとし、私は膝の靭帯と半月板を怪我しました。その時、皆さんにお祈りして頂いたことを改めて感謝致します。

こちらでフィジカルセラピーにしばらくの間、通っていたのですが、悪化していく一方で、お医者さんと相談し、手術をうけることになりました。お医者さんに術後、一か月は体重をのせてはいけないとか、3か月は運転できないと言われました。ここアメリカで3か月運転できないなんて、大変なことですよ。

なので、手術前に、子供達の送り迎えの手配や、食べ物を作り冷凍したり、食材の買い置きなど、いろいろ準備をしていたのですが、手術日の2日前に保険の関係で手術がキャンセルになってしまいました。いろいろ準備していたというのがありますが、手術してまた運動できるようになると期待していたのがっかりでした。

その夏、日本に一時帰国した時に、やはり腫れもひどく、膝がくずれる感覚が多くなり、日本の病院で診てもらい、手術をすることになりました。八月末には子供たちのアメリカの学校が始まるのでそれまでに間に合うようにと、本当は2-3か月待ちの手術なのですが、無理を言って早めに入れてもらいました。アメリカとは違って、術後の運転の心配はなかったのですが、アメリカの日帰り手術とは違い、日本では約三週間の入院と言われていたので、その間、実家に子供を預けるので、今度はその準備、そして、術前検査での通院や、入院準備などをし、今度こそ手術をしてもらえると期待し、入院しました。

入院した日の夜、お医者さんが顔色を変えて私の病室に来て、手術ができないと言うのです。手術前に、飲んでいる薬について薬剤師さんには話してあったので

すが、それがお医者さんの方には伝わってもなく、手術に影響が出る可能性があるから、その薬を1か月以上やめないと手術できないと言われたのです。手術ができないのに入院していても仕方ないし、一泊分の入院費がでてしまうので、今すぐ退院手続きをとった方がよいと言われ、朝入院したのに、その日の夜10時頃に退院することになってしまいました。

手術のキャンセルはこれで二回目。とても悲しく、きっと神様は私が手術をすることを望んでいらっしゃるのでは？と思うようになりました。そして、手術をしないで今後好きなスキーなどのスポーツをしないという選択、または手術をするという選択、神様にお任せしますと祈りました。

祈りの中では、すべてお任せしますと言っているのに、2回も手術がキャンセルになったことにただ気持ちがふさぎ、実際祈りと心はばらばらで、自分の信仰の弱さを感じました。手術は予約でいっぱい数か月待ちの中、無理を言って入れてもらった手術。それを逃したら、今度手術ができるのはいつになるのか、それとも手術はすべきではないのか、このままサンディエゴに戻るのか、委ねますと祈っていながらも、毎日毎日それを考えていました。

数週間後、病院から連絡があり、手術室に空きがでたので、3週間後に入院し、手術ができると言われました。これで3回目。今回こそ？という気持ちと、それとも今回も何か問題が出てくるのか？という不安をもちながら、また準備をしました。

入院する日。その日は年に一回子供の教会学校のお泊り会の日でした。私が入院することで子供達も不安になっていたのです。

入院し、手術をする日は、お泊り会の日となりました。子供達は教会の友達とプールに行ったり、映画をみたり、夜は教会にお泊り、子供達も気分が紛れ楽しい時を過ごすことができました。これも神様のご計画だったのでしょう。そして、今度は無事に手術を受けることができました。術後、薬の副作用で大変な思いをしましたが、それ以外は問題なく、リハビリもスムーズにいき退院できました。

入院中、やることはリハビリだけ、あとは3食食べるのみ。時間がたくさんありました。心を落ち着かせ静まり祈り、聖書を読んだり、礼拝メッセージを聞いた

りと、貴重な時間となりました。日本にいてもサンディエゴ教会の大倉先生の礼拝メッセージが聞けたことは本当に大きな恵でした。

毎週その為に、礼拝や集会などの録音、録画、アップロード等、奉仕をして下さっている皆さんに感謝致します。（このトピックスの下の欄に詳しく書かれています）

私は6人部屋に入院したのですが、その部屋はみなさん、それぞれベッドの周りのカーテンをきっちり閉めて、ほとんど周りの方と話さないような雰囲気でした。でも、カーテン越しに声は聞こえるので、どんな方が一緒に部屋にいるかはなんとなくわかりました。一人の方は抗がん剤治療の為に入院していらっしゃり、度々体調が悪くなりナースコールを夜中でも押してとても辛そうでした。おそらく中学生の息子さんがいて、運動会までには退院すると言って頑張っていたようです。ある日、まるで病院ドラマのような大名行列の教授回診がその方のところに回ってきました。先生はその方に、検査結果をお伝えした後に一言、「でも一喜一憂しないように」と言ったのでした。先生はきっとたくさんの患者さんを診て、治療してきた経験から、「一喜一憂しないで」と言ったのだと思いますが、私にはあまりにも冷たい言葉に感じました。そして、その日から、気が付いたらその方の為に祈っていました。神様の癒し、平安がありますように。そして一日でも早く息子さんのところに戻れますようにと。廊下や洗面所でその方とお話することができるかな？なんて思っていたのですが、その機会はありませんでした。神様は私達が一喜一憂してもいいとおっしゃっていると思います。

ヤコブ5章13節 「あなた方のうちに苦しんでいる人がいますか。その人は祈りなさい。喜んでいる人はいますか。その人は賛美しなさい。」

とありますが、嬉しい時は神様に感謝し、賛美することができるし、悲しい時は祈ることができます。イエス様は、御言葉で互いのいやしの為に祈りあうことを望まれ、わたしたちがいやしを受けることができることに感謝できるのです。そのことを同じ病室だった方に伝えることはできませんでしたが、神様が今後私を用いて下さることを望み、期待します。

手術のことや、いろいろなことで、自分の願う道でないところを歩む時、神様に信頼し続ければ、必ず緑の牧場、いこいの水のほとりに導いて下さると知ってはいても、心が揺らいでしまいました。でも、そんな中で自分の信仰が少しずつ整

えられ、強められていくことに気が付きました。失望や恐れの中にあつた時でも、主が共にいて下さるといふ確信を持つことができ、主の確かな働きに目を向けることができたことを感謝します。

イザヤ 55 章 9 節 「天が地よりも高いように、わが道はあなたがたの道よりも高く、わが思いはあなたがたの思いよりも高い」

詩篇 103 篇 2 節 「わが魂よ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださつたことを何一つ忘れるな。」

2. 井上智子姉の賛美

この賛美は智子さんの作詞作曲で、礼拝では本人が賛美されたり、全員に指導してくださつたりしています。感謝です。

“きよめてください”

“Cleanse Me , O Lord”

こころの奥にある 罪と向きあい
主に喜ばれる者としてください
十字架のもとに 進み祈る
深い闇に光を
照らしてください
神の前に こころ ひらき
罪 けがれより
聖霊の炎で今きよめてください

I look deep into my heart, and face my sin
Make me the precious child of God, pleasing to You, Lord
I come to the cross; I kneel and pray to You
Lord, please shed the light of truth
Into the darkest place of my heart
In God's presence, I open my heart
From sin and unrighteousness
Now, by the fire of the Holy Spirit, cleanse me, O Lord

こころの奥にある 罪と向きあい
主に喜ばれる者としてください
十字架のもとに進み祈る
深い闇に光を
照らしてください
神が住まう 宮として

I look deep into my heart, and face my sin
Make me the precious child of God, pleasing to You, Lord
I come to the cross; I kneel and pray to You
Lord, please shed the light of truth
Into the darkest place of my heart
As a holy temple of God

闇 悪魔より	From darkness and Satan
イエスの血潮で今きよめてください	Now, by the blood of Jesus, cleanse me, O Lord
きらめく光 そそがれ	A bright and shining light pours into me
雪より白く 変えられ	I will be whiter than snow
栄光に輝く主よ	The glorious and shining Lord
きよめ みちびく	Cleanses me and leads me
神の前に こころ ひらき	In God's presence, I open my heart
罪 けがれより	From sin and unrighteousness
聖霊の炎で今きよめてください	Now, by the fire of the Holy Spirit, cleanse me, O Lord

この曲は下記サイトからお聞きになれます。どうぞお開き下さいませ。

<https://m.youtube.com/channel/UCdN65ZlwtOhkt7y-QxoPVrQ>

3. 礼拝メッセージのライブ映像



サンディエゴ教会では、毎週の礼拝メッセージをインターネットのポッドキャストで聞いたり、ライブ映像で見たり、メッセージの全文を読んだり、色々な方法で礼拝に参加する事ができます。

アメリカにお住まいで日本語メッセージを聞けない地域の方々、日本や、他の国々にお住まいの方々、そして旅行や健康上の理由で当日教会へ行けない時などは、とても便利です。スマホやコンピューターのインターネットから、何時でも、何処にいても、自由に教会ウェブサイトの日本語ページからご覧いただけますので、どうぞお試しください。

●ライブ映像米国太平洋時間 (Pacific Time) 9am

<https://boxcast.tv/channel/qcoczgnsn02ddnmssdj9>

●教会ウェブサイト【日本語ページ】 <https://www.sdjcc.net>

●ポッドキャストで聞く <http://sdjccjp.podbean.com>

●全文を読む「世俗牧師宣言」 <https://www.sanbi.us/pmac/>

ラッドとし子